

# 令和4年度伊達市決算の概要

人と緑と歴史が結び合う  
ひかり輝く田園都市



問い合わせ先

財務部 財政課 電話024-575-1189

## 1 一般会計決算額の概要

◆歳入決算額 40,408,210千円 - 歳出決算額 37,586,429千円  
= 形式収支 2,821,781千円

◆実質収支 2,495,190千円  
(形式収支2,821,781千円 - 翌年度へ繰り越すべき財源326,591千円)

◆財政調整基金残高 2,556,819千円

◆一般会計全体年度末基金残高 (貸付基金を除く) 11,095,340千円

## ○令和4年度の主な取り組み

- ・「伊達小学校改築事業」や、相馬福島道路と新工業団地のアクセス強化と利便性向上のための「道路新設改良事業」、地域の交流促進のため「旧小手小学校のリノベーション事業」、フットボール場を新設した「保原総合公園拡張整備事業」、伊達市新工業団地造成にかかる「企業誘致推進事業」などを実施しました。
- ・ 令和4年3月福島県沖地震により被災した市民を支援するため、「被災住家等公費解体」や「住宅の応急修理等に対する支援」を実施しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、「ワクチン接種業務」を継続して実施するとともに、コロナ禍やロシア・ウクライナ情勢による世界的な原油価格・物価高騰に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しながら、市民及び事業者に対しての各種支援事業を実施しました。

## ○令和4年度の主な事業

|                      |             |
|----------------------|-------------|
| 伊達小学校改築事業            | 1,774,267千円 |
| ICT活用による学習活動充実推進支援事業 | 96,447千円    |
| 旧小手小学校のリノベーション事業     | 317,546千円   |
| 堂ノ内地区土地区画整理事業支援業務    | 207,708千円   |
| 道路新設改良事業（西郡山柳田線）     | 146,893千円   |
| 道路新設改良事業（大柳石橋線ほか）    | 259,689千円   |
| 保原総合公園拡張整備事業         | 247,646千円   |
| 企業誘致推進事業             | 525,864千円   |

## ■ 災害対策関連事業 1,662,617千円

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 災害（防災）対策事業         | 787,381千円 |
| その他公共施設・公用施設災害復旧事業 | 225,528千円 |
| 被災住宅支援事業           | 214,752千円 |
| 農林業施設災害復旧事業        | 211,591千円 |
| 文教施設災害復旧事業         | 111,435千円 |
| 道路橋梁災害復旧事業         | 70,906千円  |
| 災害見舞金・弔慰金支給事業      | 16,800千円  |
| その他                | 24,224千円  |

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

1,583,953千円

|                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 感染症予防事業（新型コロナウイルスワクチン接種）  | 414,211千円 |
| 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 | 256,767千円 |
| 地域経済活性化事業（地方創生臨時交付金事業）    | 245,020千円 |
| 小学校施設整備事業                 | 106,272千円 |
| 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業  | 105,487千円 |
| 福祉燃料等生活支援給付事業             | 92,608千円  |
| 公共交通運行維持支援事業（地方創生臨時交付金事業） | 70,997千円  |
| その他                       | 292,591千円 |

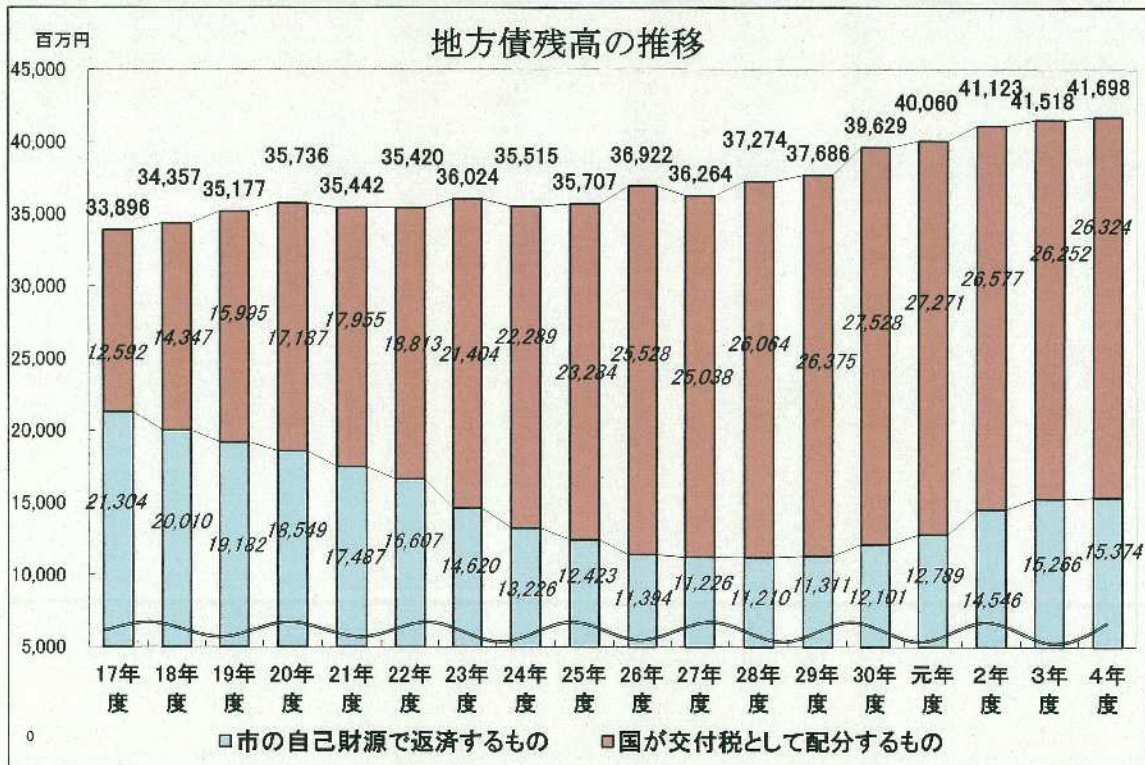
## (1) 財政調整基金、実質収支の状況



### ○財政調整基金残高及び実質収支の状況

- ・ 財政調整基金は、福島県沖地震対応や新型コロナウイルス対策などに活用するため取り崩しをしました。
- ・ 実質収支は、固定資産税、特別交付税等の増収、事業の縮小や見直しなどの結果、前年度と同程度を確保することができました。
- ・ 今後も、大規模災害に備え、財政調整基金の残高を同程度確保するため、歳入財源の確保並びに、事務事業の見直しを図り、適正な予算編成と執行に努めます。

## (2) 地方債残高の交付税算入額と自己財源の推移



### ○地方債残高の交付税算入額と自己財源の推移

- 地方債残高は、合併特例債事業である伊達小学校改築事業（建築主体・電気・機械、約32億円）のため、令和5年度まで増え、令和6年度以降減少に転じる見込みです。
- 地方債残高に占める「国が交付税として配分する額」の割合は、63.1%となっており、「自己財源で返済する額」の割合36.9%を大きく上回っています。
- 今後も、交付税措置される優利な起債を活用するとともに、地方債の発行額自体を抑制し、将来的な負担の軽減を目指していきます。

## 2 健全化判断比率及び資金不足比率

(単位：％)

| 区 分   | 実質赤字<br>比率 | 連結実質<br>赤字比率 | 実質公債費比率   |          | 将来負担<br>比率 | 資金不足<br>比率 |
|-------|------------|--------------|-----------|----------|------------|------------|
|       |            |              | 3箇年<br>平均 | 当該年度     |            |            |
| 令和4年度 | —          | —            | 8.8       | 10.02663 | 52.3       | —          |
|       | (12.63)    | (17.63)      | (25.0)    | (25.0)   | (350.0)    | 〈20.0〉     |
| 令和3年度 | —          | —            | 7.8       | 8.55303  | 55.5       | —          |
|       | (12.61)    | (17.61)      | (25.0)    | (25.0)   | (350.0)    | 〈20.0〉     |
| 比較    | —          | —            | 1.0       | 1.47360  | △3.2       | —          |

( ) は、早期健全化基準の数値 〈 〉 は、経営健全化基準の数値

### ○ 健全化判断比率及び資金不足比率

- ・ 実質赤字比率及び資金不足比率とも昨年度と同様、早期健全化基準及び経営健全化基準すべてに該当がありませんでした。
- ・ 実質公債費比率については、昨年度から悪化しましたが、将来負担比率については、昨年度より良化しました。
- ・ 実質公債費比率、将来負担比率ともに、国が示す早期健全化基準内となっており、引き続き健全な財政運営に努めます。

### 3 一般会計以外の決算状況

#### 【特別会計】

(単位：千円)

| 会計名                | 歳入決算額 A   | 歳出決算額 B   | 収 支<br>(A-B) |
|--------------------|-----------|-----------|--------------|
| 国民健康保険             | 6,198,348 | 6,196,161 | 2,187        |
| 後期高齢者医療            | 878,988   | 877,216   | 1,772        |
| 介護保険               | 8,212,262 | 7,765,129 | 447,133      |
| 栗野地区農業集落<br>排水処理事業 | 22,482    | 19,495    | 2,987        |
| 工業団地               | 1,548,486 | 1,544,893 | 3,593        |
| 月舘宅地造成事業           | 9,710     | 727       | 8,983        |
| 財産区 (12会計)         | 13,981    | 6,228     | 7,753        |

#### 【企業会計】

(単位：千円)

| 会計名                | 歳入決算額 A   | 歳出決算額 B   | 収 支<br>(A-B) |
|--------------------|-----------|-----------|--------------|
| 水道事業会計<br>(収益的収支)  | 1,839,195 | 1,695,695 | 143,500      |
| 水道事業会計<br>(資本的収支)  | 210,493   | 668,046   | △457,553     |
| 下水道事業会計<br>(収益的収支) | 831,599   | 709,974   | 121,625      |
| 下水道事業会計<br>(資本的収支) | 420,105   | 759,553   | △339,448     |

※企業会計の決算額は消費税込の額です。また、資本的収支の不足額については、消費税、地方消費税資本的収支調整額及び留保資金等で調整補填しています。